社会医療法人北九州病院　健康経営戦略マップ（2025年10月改訂）

健康投資

様々な効果に関連する健康投資

- 健康支援のための継続的な制度設計及び運用
- 健康診断の徹底・利活用、がん検診の推進
- 快適職場形成のためのコミュニケーション改善施策

具体的内容はホームページに掲載

健康投資効果

健康投資施策の取組状況に関する指標

- 定期健康診断の徹底および精密検査対象者への受診勧奨
- 特定保健指導の利用勧奨
- 健康イベントの実施（身体面）
- 健康支援の福利厚生（健康支援アプリ、無料カウンセリング等）の導入
- ストレスチェック・意識調査の実施、及び職場別の分析結果の活用
- 健康イベントの実施（メンタル面）
- 健康イベントの実施（コミュニケーション面）※ハラスメント対策を含む

職員の意識・行動変容に関する指標

- ❶定期健康診断の徹底および精密検査の受診勧奨実施率の向上※
- ❷特定保健指導の利用率の向上※
- ❸健康イベントへの参加者数の増加（身体面）
- ❹健康面の福利厚生（健康支援アプリ、無料カウンセリング）の利用者数の向上
- ❺ストレスチェック受検率・職場環境改善の実施率の向上
- ❻健康イベントへの参加者数の増加（メンタル面）
- ❼健康イベントへの参加者数の増加（コミュニケーション面）

健康関連の最終的な目標指標

- ❽精密検査受診率の向上※
- ❾健康的な生活習慣のある職員等の割合の向上※
- ❿心身の不良や健康リスク等を抱えながら働く職員の割合の低減
- ⓫長期病欠・休業率の低減
- ⓬活力・熱意等を抱いて働く職員の割合の向上
- ⓭職場の快適度、ワークライフバランス等の向上

※①②⑧⑨は全国健康保険協会福岡支部による第３期 データヘルス計画の4つの事業（a～b）と連携するものです。
a.事業主とのコラボヘルス（禁煙対策）…⑨　b.特定健診受診勧奨…①
c.特定保健指導推進…②　d.生活習慣病重症化予防　（一定の有所見者への受診勧奨）…⑧

健康経営で解決したい経営課題

健康経営の推進方針

質の高い医療・介護サービスを安定的に提供するために、その原動力となる「職員」が
（Ⅰ）心身ともに健康で能力を十分に発揮し、
（Ⅱ）心理的安全性が担保された安心・安全な職場で、
長く働き続けられる環境を構築する。

健康経営の目標　目標年：2028年度

Ⅰ心身の健康保持と能力発揮

- ⓮KGI：高ストレス該当者割合＝10%未満
- ⓮KGI：特定保健指導該当者割合＝10%未満
- ⓮KGI：職員のパフォーマンス発揮率＝80%以上
- パフォーマンス発揮率：心身の不調による損失が無い場合のパフォーマンスを基準（100%）とした場合の、過去4週間のパフォーマンス発揮率の平均

Ⅱ安心・安全な職場環境づくり

- ⓮KGI：高ストレス職場該当率＝5%未満
- ⓮KGI：過去3年間のハラスメント被害率＝5%未満

経営方針

医療レベル向上に不可欠な「人材確保」に注力する。

⓯成果指標：離職率低減
平均勤続年数の延長

健康課題

「Ⅰ健康問題」や「Ⅱ対人関係」を理由とすると退職が毎年一定数みられ、これらの解決が人材確保上の重要な課題となっている。

その他、特定保健指導利用率の低さ（10%未満）や高ストレス率の高さ（10%以上）も課題である。

職場風土の醸成

健康経営の浸透

- 北九州病院健康宣言策定
- 経営トップによる継続的な情報発信

⓰評価指標：職員アンケートで浸透度確認

サポート・組織支援

- 上司によるサポートの推進
- 組織による快適な職場環境づくりの推進

⓱評価指標：ストレスチェックやアンケートで上司や組織のサポート状況の把握

健康経営推進方針の実現のための体制・環境整備

- 理事長を「最高健康責任者」とし、病院本部が旗振り役となって取り組み推進
- 病院本部にメンタルサポート室設置（スタッフ保有資格：医師、保健師、看護師、公認心理師、両立支援コーディネーター、メンタルヘルスファーストエイダー、健康経営アドバイザー等）
- 病院本部の月例会議、経営会議にて健康支援の議題を報告・協議
- 施設衛生委員会・健康支援担当者、保険者、労働組合など連携
- 外部専門家（労働衛生専門医、経営コンサルタント等）の活用